



Human Metabolome Technologies, Inc.

2026年6月期第1四半期 決算補足説明資料

2025年11月

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 (6090)

本資料の一部またはすべての複製・転載は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

バイオものづくりは好調にサービスを開始するも、ライフサイエンス研究支援サービスでアカデミア分野での売上が大幅に減少。
また賃上げによる人件費増などにより、販売費一般管理費が増加した結果、
営業利益・経常利益が大幅に減益となった。

(単位：百万円未満切捨)
(表中の△は損失)

	2025年6月期 第1四半期	2026年6月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	274	192	△ 81	△29.8%
営業利益	△ 5	△ 91	△ 86	-
経常利益	△ 14	△ 90	△ 75	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 35	△ 97	△ 61	-
1株当たり当期純利益 (円)	△ 5.99	△ 17.10	△ 11.11	-

バイオものづくり支援サービスは好調なスタートとなったが、ライフサイエンス研究支援は、主にアカデミアの大型案件が減少、機能性素材開発支援は、顧客の臨床試験スケジュールにより大型案件が減少したため、全社では売上が減少。

(単位：百万円) (表中の△は減少・百万円未満切捨て)

	2025年6月期 第1四半期	2026年6月期 第1四半期	増減額	増減率	主要因
ライフサイエンス 研究支援サービス (LSS)	197	122	△74	△37.8%	アカデミアの大型案件が少なかったことによる。米国事業は引き続き低迷が続く。
機能性素材 開発支援サービス (FDS)	76	36	△40	△52.6%	顧客からの大型臨床試験スケジュール上、当期の案件が少なかったため
バイオものづくり 支援サービス (BMS)	0	33	33	-	好調な新規受注に伴う
合計	274	192	△81	△29.8%	

バイオ繊維
(Spiber株式会社)
バイオプラスチック
酵素

バイオものづくり
支援事業 (BMS)

Kin-Pun
(フェルメクテス株
式会社)

バイオ素材

培養肉

バイオ医薬品

バイオ燃料

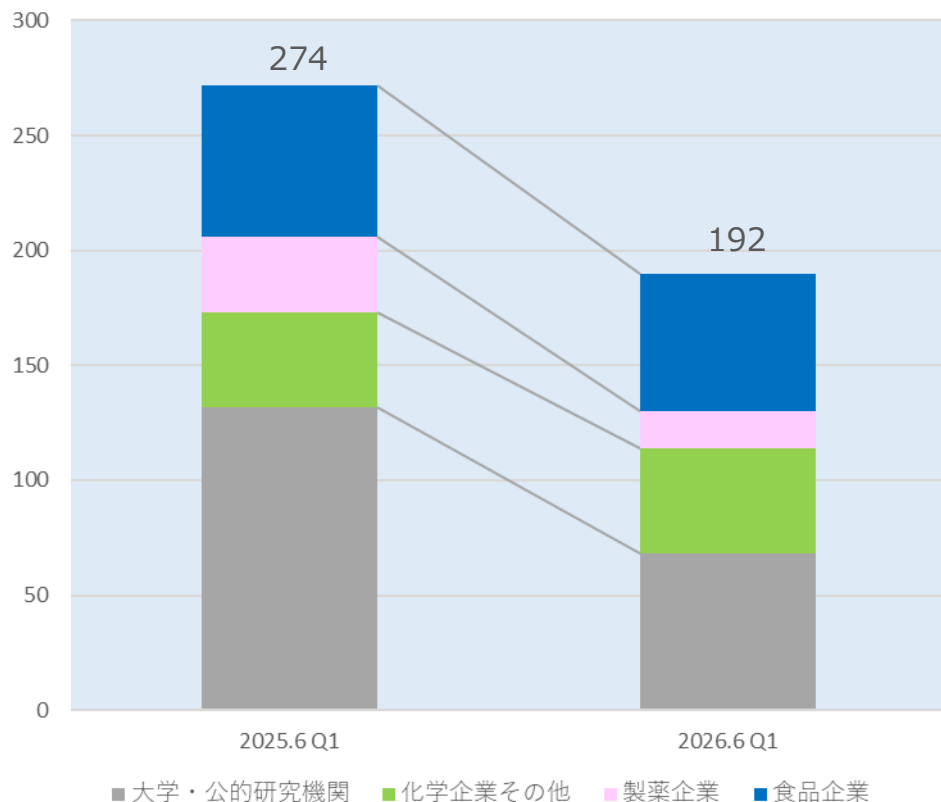
抗体医薬品
(第一三共株式会社)

SAF

アカデミア分野が大型案件が対前年比較では減少したため大幅に減少。
 バイオものづくり関連の化学企業・食品企業などは増加。
 製薬分野は、欧米事業の低迷の影響などで対前年比で減少。
 欧米事業については回復までまだ時間がかかる見通し。

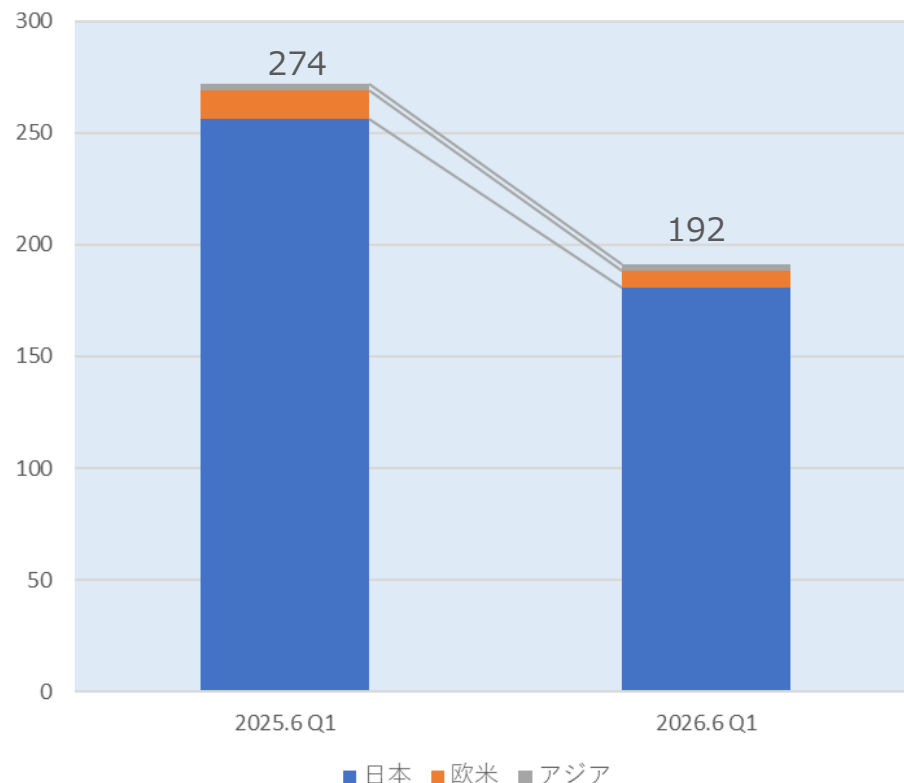
分野別売上

(百万円)



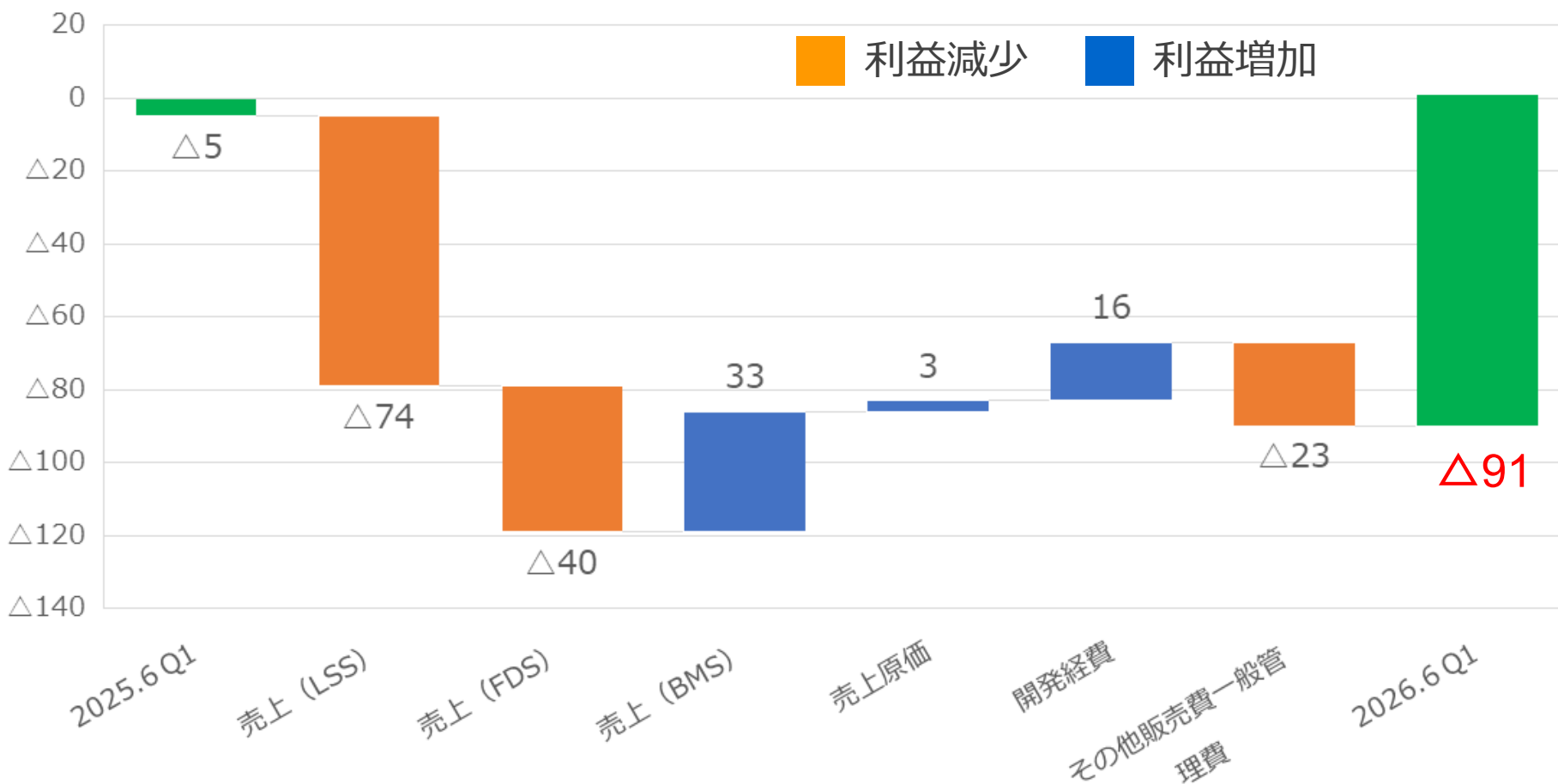
地域別売上

(百万円)



営業利益 増減要因

(百万円)



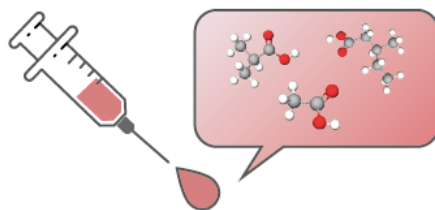
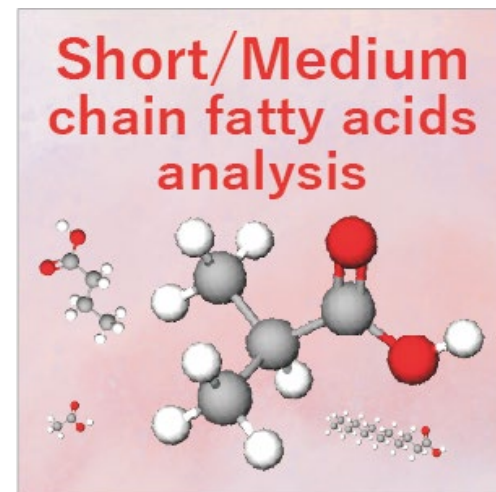
短鎖脂肪酸と中鎖脂肪酸の分析に特化した「短中鎖脂肪酸分析」サービスの販売を開始

短鎖脂肪酸とは？

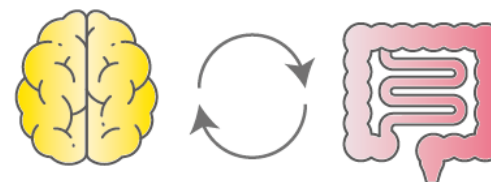
- 主に腸内細菌により生成され、腸の働きや免疫機能に関与
- 脳機能への影響も知られ「脳腸相関」に関する研究にも重要

中鎖脂肪酸とは？

- 消化吸収が早くエネルギー源になりやすい
- スポーツ医学や介護食などヘルスケア分野で注目度が高い



血液中の微量な
短鎖脂肪酸の測定が可能



脳腸相関の研究に活用

本サービスの強み

- 短鎖脂肪酸に加え、中鎖脂肪酸や分岐鎖脂肪酸も測定可能
- 高感度化により、これまで難しかった血中濃度の分析も可能（脳腸相関の分析には重要）

参考資料



ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

設立年月日：2003年7月1日

資本金：1,488百万円

取締役（社内）：大畑 恭宏（代表取締役社長）

紙 健次郎（取締役）

創業者：（2025年9月現在）

富田 勝 慶應義塾大学名誉教授

曾我 朋義 慶應義塾大学教授

主な事業内容：メタボローム解析受託サービス

売上高（直近）：1,455百万円

従業員数（連結）：62名（博士：11名）

（2025年6月現在）

本社：山形県鶴岡市覚岸寺字水上246-2

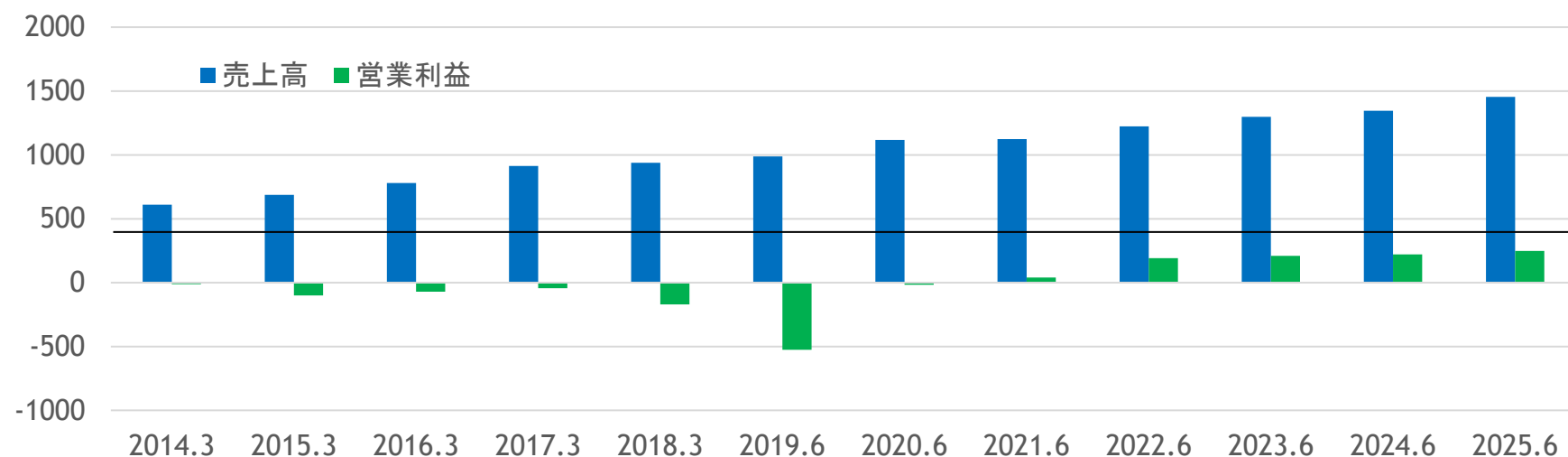
東京事務所：東京都中央区新川2-9-6

シュテルン中央ビル5階

子会社：HMTアメリカ アメリカボストン

- 2001 ● 慶応義塾大学先端生命科学研究所、山形県鶴岡市に開所
- 2003 ● 創業（創業者：慶応義塾大学 富田氏、曾我氏）
- 2012 ● Human Metabolome Technologies America Inc. 設立
- 2013 ● 上場（東証マザーズ（現グロース市場）：6090）
- 2023 ● 創業20周年
- 2025 ● 東証スタンダード市場上場（市場区分変更）

(百万円)



本資料に含まれる将来の見通し等に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後のマクロ経済動向、市場環境や当社の属するライフサイエンス業界の動向、当社の研究開発の進捗、その他内部及び外部要因により変動することがあります。

そのため、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通し等に関する記述と異なるリスクがあることを予めご了承ください。